

KFCと尚絢学院大がつくる名取のメディア

# ハナモモ通信

2016年4月



【発行】  
 河北新報普及センター  
 【協力】  
 尚絢学院大 河北仙阪  
 尚絢学院大 名取市内  
 【発行】  
 11, 000部  
 【編集】  
 022(286)2391



高校生メンバー、(左から) 橋浦優香さん、大宮偉介君、中山雄飛君、齋藤智之君

## さらり なごり ひと☆

### 3.11なごり・関上追悼イベント2016

## 伝えつなごり前へ

震災を並べ、東日本大震災の犠牲者を追悼する「3.11なごり・関上追悼イベント2016」が3月11日、名取市役所前広場で開催されました。震災前にも約100名の基が準備された。これは震災後も並べられるようにと名取市内のパナソニック仙台工場の協力の元一昨年で開催したものです。

イベントでは約25名の実行委員とボランティアが中心となって灯籠の組み立てを行いました。組立灯籠は1基を作るために4枚の絵が必要で組み立ても手作業です。当日は雨や風で給灯籠が倒れたり、ろうそくの火が消えたりしないよう見守りもするため、毎年多くの人の手が必要になります。

若い力・未来へ

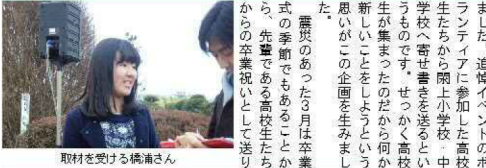
今年から実行委員のメンバーに5人の高校生が加わりました。給灯籠の絵を描くボランティアを高校に提案し、絵を提供してもらったことと、きっかけで生徒とつながりができ、今回の参加に至ったそうです。全員が震災当時、関上小の6年生、周りの大人たちが活動

に合せて紙製でろうそくをのりを使って、灯籠の芯の芯を準備。ろうそくの代わりにLED電球と太陽光パネルを使った電圧給灯籠も約100の基が準備されました。これは震災後も並べられるようにと名取市内のパナソニック仙台工場の協力の元一昨年で開催したものです。

イベントでは約25名の実行委員とボランティアが中心となって灯籠の組み立てを行いました。組立灯籠は1基を作るために4枚の絵が必要で組み立ても手作業です。当日は雨や風で給灯籠が倒れたり、ろうそくの火が消えたりしないよう見守りもするため、毎年多くの人の手が必要になります。

若い力・未来へ

今年から実行委員のメンバーに5人の高校生が加わりました。給灯籠の絵を描くボランティアを高校に提案し、絵を提供してもらったことと、きっかけで生徒とつながりができ、今回の参加に至ったそうです。全員が震災当時、関上小の6年生、周りの大人たちが活動



取材を受ける橋浦さん



優しく説明する武田さん

「寄せ書きには、私たちの言葉とともに私たちの後に続いて震災を伝えたい」とメンバーの一人、向山高3年の橋浦優香さん(17)が話しました。

高校・大学のボランティア約200名も参加し、仙台高専5年のエルアツサー菜々さん(19)は「まだまだボランティアが求められていることを知った。これから積極的に参加したい」と話してくれました。

群馬県からも群馬県から駆け付けた高崎健康福祉大学の清水達太さん(19)は、学内のボランティアアセンダーで学生スタッフをしています。「参加して現地の人話を聞けたのが本当に良かった。イベント後は宮城に滞在し、関上や石巻などを回るといい」と話しました。

給灯籠作りを指導した名取市教育委員会長の武田雄雄

### なごり通信

HANA MOMO COMMUNICATION

11:30am

www.hanamomocom.jp

「(たかお)委員長(長)は、若い世代の委員も積極的に活動を支えるのが自分の役割」と話します。

5月は節目で終わりで二に、耳からの情報なので想像力を養うことができます。同じ放送でも、リスナーそれぞれが全く別の映像を思い描く、面白いと思いませんか。脳と心ともなります。

最後に、いざという時にいち早く情報を届ける体制を整えています。日よから「ならん」ことが発生した時、迅速に「名取」の情報を迅速に、詳しく届ける体制を整えています。日よから「ならん」が増えるら番組制作に力を入れていきます。皆さんの近づくに、ラジオを置いてください。

なごり通信なら、いつでもどこでも好きな音楽や話題を楽しめるメディアです。第

◇かき絵ま、もと◇  
 1980年生まれ、柚子座の型、音楽、映画美術に興味あり、取材先で見かけたら、気軽に声を掛けてください。

# ハナモモ記者の

## 新しいなるお店



落ちついた外観のお店です

### PzCafe

ピーズカフェは、ゆつたとした雰囲気、気が凛々としたオーソライティ料理専門店です。店名は「楽しい」という意味を持つポルトガル語の社名「Prazer」(プラゼー)から「ラゼール」の小野歩さん(32)は海外生活への憧れが強く、2008年、25歳でオーストラリアに渡りました。クイーンズランド州ゴールドコーストに6年間滞在し、パリスターの資格を取得しました。14年に帰国して、オーストラリアの文化体験とダイニングサービスを提供しようとして、昨年、名取市手倉田にダイニングショップを併設するカフェをオープンしました。

料理も現地の味を守りながら、日本人の好みにアレンジ。お勧めは「シェパードパイ」(豚肉と牛肉ではなく、アイスクリームやゴータンを飾り、ほとんどの料理がテイクアウトできる)とあって、近くの球場や公園へ野球観戦や花見に訪れる人が立ち寄って行きます。取材中も幅広い年代が来店していました。

小野さんは、「料理やお店の雰囲気だけでなく、オーストラリアに詳しいスタッフとの会話も含めて気軽に異文化体験をしつづけてい」と笑顔で話しました。(古種明葉)



記者もイチオシの、シェパードパイ(中央)、ソーセージロール(左上)、生チョコラのポップオーバー(中央上)、フラットホワイトコーヒー(奥)

古種記者がシェパードパイ、ソーセージロールを注文、食後にフラットホワイトコーヒーと生チョコラのポップオーバーをいただきました。

パイはマッシュポテトとひき肉たっぷりしつとりした食感、セットのパンはバター風味が濃厚でした。ソーセージロールはサクサクとしたパイとソーセージが絶妙な組み合わせです。食後に飲んだフラットホワイトコーヒーは、エスプレッソの苦みが存在感を示



笑顔の素敵なお野さん



幾世・小佐治の墓の遠望

**名取昔話**  
幾世の墓を公家墓の母の悲恋物語

高館川上の旧海道、川  
後6時、火曜と第3月曜定休、住所は名取市手倉田字山162-1-1 連絡先022(796)8264

昔、高館川上に、桑島長者とその娘幾世が住んでおりました。小佐治が一夜の宿をこい強盗に入られたため、小佐治がこれを追いかきました。その後、幾世と小佐治は無いあい、小佐治は度々そのことを約束して旅立ちました。その後、小佐治を待ち切れぬ幾世は増田川に身を投げ死んでしまいました。



幾世の墓



小佐治の墓

上生活センター近く、県道を挟み、西側に幾世姫の墓、東側に旅の若者、京都公家、小佐治の墓が建っています。



ハナモモ通信  
フェイスブックQRコード

**ハナモモ通信**  
フレセント企画

皆さんからの意見、ご感想と情報提供をお待ちしております。4月号フレセント企画として、5名の方に東北楽天、河北新報「ロボポリアルタール」をプレゼント。

住所、氏名、年齢、電話番号、ハナモモ通信を読んだの感想、要望などを記入してメールかFacebookまたは郵送で、RFOハナモモ通信フレセントへ(住所)〒980-0002 仙台市青葉区五橋1-227-1003030

旅から戻った小佐治は幾世が亡くなったことを知り悲しみのあまり死んでしまったといふことです。